

# 街歩きヒストリア



禿翁寺全景。左側の楠が被爆樹木

このお寺は、慶長年間に高僧  
信譽禿翁上人がこの地に基礎  
を築き、元和5(1620)年浅野長  
晟が和歌山から広島へ転封の  
際、上人の弟子が紀州の禿翁寺  
を同地に移したと伝えられます。

## 禿翁寺

東白島町



阿弥陀仏座像

昭和20(1945)年8月6日の  
原爆(爆心地より1.5km)で本  
堂、閻魔堂等全て焼失しまし  
たが、本尊は疎開により焼失を  
免れました。石仏や阿弥陀仏座  
像も被爆しましたが何とか残り  
、原爆直後に米軍が撮影した記  
録映画にも映っています。この  
大きな仏像がインパクトを与  
えたのかもしれない。

(55)

中央公民館エリア(白島、基町、幟町)の街の魅力などを紹介するコラム「街歩きヒストリア」。制作スタッフを随時募集しております。



また、境内の紅梅・楠などが被爆樹木の指定を受けています。沢山の樹木に囲

まれた境内の中では、しばし都会の喧騒を忘れる時を過ごせました。

(文 溝部ひとみさん・

写真 河野宏志さん)